

令和3年7月7日（令和3(2021)年度第6号）



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<https://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

- 「第54回 全国保育士会研究大会」参加受付中！
～遊びをせんとやあおもりけん 戯れせんとやあおもりけん～
- 「保育所・認定こども園リーダーシップセミナー」申込受付中！
（全国保育協議会）
- 「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会（第2回）」が
開催される（厚生労働省）

◆ 「第54回 全国保育士会研究大会」参加受付中！ ～遊びをせんとやあおもりけん 戯れせんとやあおもりけん～

本会では、第54回全国保育士会研究大会を、令和3年10月13日（水）にオンラインによるライブ配信にて開催いたします。

本研究大会は、子どもの最善の利益を尊重し、豊かな育ちを保障するために、保育者一人ひとりが知識の研鑽を積むとともに、保育の研究を深めていくことを目的に開催するものです。

実践研究分科会では、1年をかけて積み上げた多様な実践研究に触れることにより、自らの保育実践の振り返りや新たな取り組みの創出につなげることができます。

また、記念講演では佐藤弘道氏（NHK「おかあさんといっしょ」第10代体操のおにいさん）に、日本初の「親子体操博士」の視

第54回 全国保育士会研究大会 開催要項

**「子ども主体の保育」の理解促進と質の向上をめざして
～遊びをせんとやあおもりけん 戯れせんとやあおもりけん～**

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化するなか、令和2年12月の新子育て安心プランの策定や、保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】の適用など、子どもの育ちと保育をめぐる状況は大きく変化しています。しかし、そうしたなかにおいても、子どもを中心に考えた保育の質を確保・向上することが何より重要で、また、児童虐待や子どもの貧困などの課題が深刻化・複雑化するなか、保育所・認定こども園等で働く保育士・保育教諭等は、日ごろの保育を通して、子どもや保護者のさまざまな変化にいち早く気づき、支援することが期待されます。そして、保育士等自身が、「子どもを尊重すること」「子どもの人権擁護」について、常に意識を高めていくことも忘れてはならないことです。

加えて、保育士等の処遇改善とともに、若い世代への保育の仕事の理解促進、保育の魅力の発信によって、保育人材の確保と養成をすすめるとともに、誇りとやりがいをもって働き続けられる職場づくりに取り組むことが必要です。

本研究大会は、子ども一人ひとりの最善の利益を尊重し、豊かな育ちを保障するために、全国の保育関係者が集い、保育者一人ひとりが知識の研鑽を積むとともに、保育の研究を深めていくことを目的に開催します。

期 日 令和3年10月13日(水)

実施方法 Zoomを使用した
オンラインによるライブ配信
※一部、事前収録によるプログラムあり
※パソコンやインターネット環境はご自身でご準備ください。

主 催 全国社会福祉協議会・全国保育士会／全国保育協議会
青森県保育連合会

実施主体 全国保育士会 青森県保育連合会

後援(予定) 厚生労働省 青森県
青森県社会福祉協議会

©2021 全国社会福祉協議会 全国保育士会
青森県保育連合会 青森県社会福祉協議会

点でお話しいただきます。

参加申し込み締切は8月20日（金）となっておりますので、都道府県・指定都市組織の会員等の参加促進に特段のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【第54回全国保育士会研究大会の概要】

期 日：令和3年10月13日（水）

実施方法：Zoomを使用したオンラインによるライブ配信

主 催：全国社会福祉協議会・全国保育士会／全国保育協議会
青森県保育連合会

参加費：会員 10,000円、会員ではない方 15,000円、学生 2,000円

申込締切：令和3年8月20日（金）

内 容：・オープニングアトラクション

／ダンス&ボーカルユニット「RINGOMUSUME」

・基調報告／村松 幹子（全国保育士会 会長）

・行政説明／厚生労働省 子ども家庭局 保育課

・記念講演／佐藤 弘道 氏

（NHK「おかあさんといっしょ」第10代体操のおにいさん）

・実践研究分科会（第1～8分科会、特別分科会）

詳細につきましては、開催要項（下記ホームページ）をご参照ください。

【開催要項ホームページ】

<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/index.php?category=2>

また、参加申し込みは、下記専用ページからもお申しいただけます。ぜひご利用ください。

【第54回全国保育士会研究大会 申込専用ページ】

<http://www.mwt-mice.com/events/2021hoikushikai54>

◆「保育所・認定こども園リーダートップセミナー」申込受付中！（全国保育協議会）

全国保育協議会では、保育所・認定こども園のリーダーが、子ども・保護者や地域のニーズに的確に対応するため、自らの専門性を高めることを目的に、「保育所・認定こども園リーダートップセミナー」を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化するなか、感染防止を行いながらの保育の継続が求められていること、またそのような保育が子どもの育ち・発

達にどのような影響を及ぼすかも懸念されているなかで、現在保育現場に求められることはなにか等について、ライブ配信型の講義で理解を深めるべく、下記日程等により「保育所・認定こども園リーダーシップセミナー」を開催します。

- 日程 令和3年8月6日(金)13:00~17:20
- プログラム概要

テーマ・講師	内容
【行政説明】 保育をめぐる国の動向 厚生労働省子ども家庭局保育課	近年、幼児教育・保育の無償化や、児童福祉法改正等、保育にかかわるさまざまな制度の動きがみられる。教育・保育施設長には、このような制度の動向を常に把握し、対応していくことが求められる。 本講では、保育に関するさまざまな制度動向を理解する。
【基調報告】 全国保育協議会の活動 全国保育協議会	制度動向が保育の現場にどのような影響を与えるのかを理解するとともに、全国保育協議会が制度動向に対してどのような活動を行っているのかを報告する。
【講義Ⅰ】 新型コロナウイルス感染症について～医学的知見から～* 国立感染症研究所 感染症疫学センター 予防接種総括研究官 多屋馨子 氏	新型コロナウイルス感染症について最新情報を得るとともに、保育所・認定こども園等における新型コロナウイルス感染症の医学的根拠に基づいた基本的な対策・対応等について理解を深める。
【講義Ⅱ】 新型コロナウイルス感染症による子どもの発達・育ちへの影響* 東京大学 教授 発達保育実践政策学センター センター長 遠藤利彦 氏	新型コロナウイルス感染症の影響により、保育所・認定こども園等における保育のあり方が変化している。 それらが子どもの発達・育ちへどのような影響を及ぼしているのか（あるいは及ぼしていないのか）、子どもの成長発達とコロナ禍における対応について解説する。
【講義Ⅲ】 保育所等の労務管理・経営上の課題* 社会保険労務士 篠原事務所代表 篠原丈司 氏	新型コロナウイルス感染症の影響により、保育者は感染予防、感染拡大防止に努め保育を実施しています。このような状況において保育人材の確保・定着を図るには、処遇改善や労務管理、業務負担の軽減を進めていくことが必要となる。 コロナ禍における保育士等の職員の働き方について見直し、働きやすい職場づくりについて学ぶ。

※ *が付された講義は、参加申込時に講師に質問を送ることができるとともに、講義のなかで5分間 zoom の機能を用いて質問することができます。

- 受講方法
 - ・ Zoom を使用したオンラインによるライブ配信
- 申込方法
 - ・ 株式会社日本旅行 専用サイトよりお申し込みください。
 - 申込締切 **令和 3 年 7 月 19 日(月)**に延長いたします
 - 受講申込 URL https://va.apollon.nta.co.jp/r3_leadertopseminar/
- 受講料・定員
 - ・ 全国保育協議会会員 10,000 円／会員ではない方 15,000 円
 - ・ 定員 400 名

◆ 「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会(第2回)」が開催される(厚生労働省)

令和 3 年 6 月 28 日、「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会（第 2 回）」（厚生労働省）が開催されました。

この検討会は、主に「地域における保育所等の役割に関すること」、「今後の地域・社会情勢を踏まえた保育士等の在り方や確保方策に関すること」、「その他保育所や保育士等の在り方に関すること」を検討事項としています。

第 1 回検討会では、現状から考えられる保育に関する中長期的な課題として、下記が提示されました。

「現状から考えられる保育に関する中長期的な課題」

- 人口減少地域等において、保育所の利用児童数が減少する中で、既存の施設規模の縮小などの検討が求められること
- 地域で孤立する子育て世帯が見られる中で、保育所や保育士の専門性を活かした支援が考えられること
- 多様なニーズを抱えた子ども・家庭への支援の重要性・必要性が高まり、支援の強化が求められること
- 今後、生産年齢人口が減少していく中で、保育のニーズに応え、利用者に安心を与える保育士の確保が求められること

第 2 回検討会では、上記を踏まえた各地における取り組みが構成員から紹介されました。その後、資料で提示された「論点整理（案）」に対し、構成員より発言が行われています。

「地域における保育所・保育士等の在り方に関する論点整理(案)」

1. 人口減少地域等における保育所の在り方

- 今後、人口減少地域の拡大が想定される中、人口減少地域等において必要な保育を確保していくための方策についてどのように考えるか。
- 各市町村では、保育所等の統廃合・規模縮小、公立保育所の在り方の検討などの対応が必要となり得るが、地域毎に状況が異なることに留意しつつ、どのような対応が考えられるか。

2. 保育所・保育士による地域の子育て支援

- 地域で子育て世帯が孤立しないために、保育所等を利用していない子育て世帯に対して、保育所が担うべき役割や関係機関との連携についてどのように考えるか。
- その際、保育士の負担に配慮しつつ、保育士の専門性を活かした支援としてはどのようなものが考えられるか。

3. 多様なニーズを抱えた保護者・子どもへの支援

- 一時預かりについて、必要とする人がより利用できるようにするための方策についてどのように考えるか。
- 医療的ケア児、障害児、外国籍の子どもや、家庭環境に特別な配慮が必要な家庭の子どもなど、保育の現場で多様化するニーズについて、待機児童解消の観点も踏まえ、その受け入れや必要な支援を進めるための方策について、どのように考えるか。

4. 保育士の確保・資質向上

- 生産年齢人口の急減や地域の子育て支援における保育所の役割を踏まえた、保育士の量的確保策や資質の向上策についてどのように考えるか。
- わいせつ行為を行った保育士の対策について、教員の取扱い等を踏まえ、どのように考えるか。

構成員からの意見(事務局抜粋・要約)

- ・ 現在の保育士の働き方は非常に厳しい。そのうえに役割を加えるのではなく、保育士配置基準の改善が最も望ましい。
- ・ 人口減少地域では保育関係組織の連携が必要になってくるが、それぞれの地域の特性にあわせ、保育所が中心になって連携するのか、連携のなかに参加するのか、その地域にあわせた最もよい選択をするため、自治体や国が関わっていく必要がある。
- ・ 人口減少地域における保育の確保については、あらゆる資源を活用する視点が必要。
- ・ 災害時の医療機関との連携など、民間園とは全く異なる性格を持っている公立園の

存在意義は大きい。

- ・ 保育の質の確保向上に向け、人口減少地域の保育士に対する研修をどのように保障していくのが課題。
- ・ 保育士が地域のことを考えるためには、そうした内容のリカレント研修が必要。
- ・ 医療的ケア児については、看護師の確保が非常に厳しい状況にある。
- ・ わいせつ行為を行った保育士の資格再登録については、性犯罪の専門家等にヒアリングするなど、慎重に検討すべき。

委員として参画する全国保育協議会の森田副会長からは、「人口減少地域は都市部においても発生している」、「島しょ部においては、統廃合もできず、地域の保育ニーズに応えることが厳しくなっている」、「研修についても、島しょ部の保育士は日帰りで研修に参加するのが困難であり、研修の機会の確保も課題」、「人口減少地域と一括りにするのではなく、島しょ部のことについても検討してほしい」等の発言がありました。

本検討会は、主な論点や目指すべき方向性について整理し、夏以降に具体的な議論を進め、年末までにとりまとめを行うこととしています。

また、全国保育士会においては、今後、本検討会の論点等も注視しながら、社会の変化に対応した保育内容や、多（他）職種、多（他）機関連携・協働による地域支援事業の推進等について検討を進めることとしています。

なお、検討会の詳細は下記ホームページをご確認ください。

- 厚生労働省 > 政策について > 審議会・研究会等 > 子ども家庭局が実施する検討会等 > 地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/newpage_00030.html